

令和2年度第2回「知事と一緒に生き生きトーク」発言要旨

- 1 テーマ：いばらぶ♥ようこそ！デニムの聖地井原へ
- 2 日 時：令和2年8月4日（火）14：10～15：20
- 3 場 所：IBARA DENIM HOTELS 舞鶴楼（井原市井原町3294）
- 4 参加者：「井原デニム」の生産や販売、デニムを生かしたまちづくりに携わる6名

5 知事挨拶

井原デニムは、関係者の工夫と努力の積み重ねにより、世界で高く評価されている。デニムを世界に売っていこう、デニムで地域を盛り上げようと頑張っておられる皆様のお話を伺うことを大変楽しみにしている。

6 発言内容等

【自己紹介・活動について】

- ・本日の会場となった IBARA DENIM HOTELS 舞鶴楼を経営している。井原では、矢掛から神辺に向かう大名行列へのお土産として綿花、藍染関係の産業が興った。商店街の方から、井原が一番誇れる場所は川沿いで、親子4代で川を守り続けているという話を聞き、この地で何かお役に立ちたいと考えた。
- ・まちづくりでは、そのまちの人柄に触れ、また訪れたいと思うおもてなしと、美しいまちであることが大切だ。地域の舞鶴公園は、地域住民で草取りや掃除を行い、いつも綺麗にしている。川には鮎や鯉もいて、特に桜の時期には自然の美しさがある。
- ・デニム・スクエア・ガーデン内でカフェを営業している。3年前に地域おこし協力隊員として埼玉県から移住し、デニム活性化支援を担当した。移住した理由は、「晴れの国」というキーワードも大きいですが、岡山の魅力に引き寄せられた。来るまでは、井原がデニムの産地とは知らなかったが、活動を通じてその魅力を知った。現在は、念願だったカフェを起業し、引き続き地域に貢献したいと思っている。
- ・平成23年から井原駅のデニムストアでデニムのPRに努めてきた。元々は洋裁学校の教員で教えることが好きだ。現在、デニム・スクエア・ガーデン内で体験型デニムショップを運営している。ものづくりの楽しさを伝え、また井原を訪れてもらえるように貢献したい。
- ・創業67年目のジーンズの染色洗い加工を行う会社を経営している。平成27年に自社ブランドを立ち上げ、展示会への出展を契機に、全国の百貨店での販売も順調だ。ロゴマークに「Ibara」「Okayama」「Japan」の文字を添え、井原のPRにも努めている。
- ・井原は江戸時代から織物産業が盛んで、明治時代は備中小倉で有名だった。デニム作りは昭和30年代から始まり45年頃がピーク。現在はシャトル織機、ジャガード織りで世界でも評価が高い。平成22年に井原駅にアンテナ

ショップを開設。デニムに関する取組を続け、平成 31 年には井原デニムが地域団体商標となった。

【井原デニムの振興、まちづくりの可能性など】

- ・世界から求められる井原デニムにふさわしい美しいまちづくりをしたい。商店街の人通りは少ないが、将来にまちを残すための舞台作りを行い、皆さんの力を借りながら、このまちの価値を作っていきたい。
- ・新町商店街は、私の親が出店した昭和 28 年には 46 店舗あったが今は 7 店舗になっている。危機感から令和元年 3 月に矢掛の取組の話聞いたのがはじまりで、その後、国の創生事業が採択され、市の事業でも採択され、令和 2 年 3 月 28 日に IBARA DENIM HOTELS 舞鶴楼がオープンした。
- ・地域おこし協力隊員として、周りの方々に教えてもらい、デニムの色落ちの検証、工場見学ツアーなどの活性化支援を行ってきた。デニム、コーヒー、商店街を掛け合わせた魅力づくりやイベントの企画などを通じて地域に貢献したい。
- ・井原デニムの P R や販売による関係者とのつながりが財産。ものを作る楽しみや多種多様な生地魅力を、地元の人や子どもたちに伝えたい。また訪れたいと思える空間づくり、まちづくりに向けた取組を試行錯誤しながら行っている。
- ・主力はニット商品。島精機製作所の最先端マシンで生地を生産、インディゴの手染めの柔らかな風合いは他にない。首都圏では、岡山、井原の知名度は高くないが、訪れてみたいという顧客もいて、デニム・スクエア・ガーデンへ出店した。

【課題解決のための提言など】

- ・井原はデニムの他に、日本のビール王の馬越恭平にゆかりがある。また、岡山県は古民家の数が全国 6 位。古いものを大切にする岡山の文化と心を生かしたビール園やチャレンジショップなど、古民家の活用がもっと進むようになればよい。
- ・新町商店街では井原デニムストリート構想が進められている。商工会議所ではデニムに関する店舗集積を高めるため、インキュベート機能を備えたチャレンジショップを企画し、県の「企画提案型小規模事業者支援事業補助金」の活用を検討している。補助単価の増額や補助期間の延長、また、東京事務所や「とっとりおかやま新橋館」を起点とした全国 P R を期待している。

7 知事まとめ

- ・活発な意見交換ができ、貴重なご意見をいただいた。地域を盛り上げてくれる皆さんには、これからもよろしくお願いしたい。
- ・ご意見は県庁内の関係部局にも伝わるようにしている。県としても様々な取組を進めていきたい。